

武蔵野市環境啓発施設運営会議（第9回）議事要録

日 時 令和3年5月25日（火）開会 午後2時 閉会 午後4時
開催方法 Web 会議システム使用によるオンライン開催
参加者 委員7名、事務局7名
小澤委員長、鈴木副委員長、光田委員、宮坂委員、越智委員、塩澤委員、朝生委員

1 議事

- (1) サポーター制度について
- (2) 施設の貸出について
- (3) 施設の評価について

2 報告事項

- (1) 第17回連携会議について
- (2) 開館状況について
- (3) 事業実施状況について

3 その他

- (1) 議事要録（案）について
- (2) 次回の日程調整について

委員意見・質疑及び事務局回答

発言者	要旨
	1. (1) サポーター制度について 1. (2) 施設の貸出について
事務局	資料1としてサポーター募集のチラシ案を提示した。また、資料4内の「サポーター事業について」への意見募集において、有償・無償の部分、そして「サポーターとは一体何をするのか」といった部分にコメントをいただいている。有償・無償については、無償のボランティアであることを想定している。サポーターの具体的な活動については、2つ考え方がある。一つは、サポーターとして登録した方々が企画を立案し、実施していく方向。もう一つは、スタッフから「こういう事業をやります」ということを呼びかけて、事業のサポートをするサポーターを募集する方向。今現在も、参加型の展示であるSDGs展示に対し、環境の学校の修了生から意見やコメントをもらい、展示

	<p>を完成させる取り組みを進めている。こういった特定の事業に対して協力を求めているという打ち出し方によって、サポーターの見え方などが変わってくる。</p> <p>施設の貸出について、資料2を参照。エコreゾートはごみの処理施設ということになるため、一般的には貸出をする施設ではなく、ルールを設定し貸出ができるようにしていく。そのため登録と、申請して費用を減免するという手続きを含めた4つのプロセスが必要になる。見取り図で貸出対象場所を示したが、隣の芝生広場や、クリーンセンター管理棟のコミュニティラウンジも含まれる。この施設は環境啓発のための施設なので、そのことを念頭に置きながら借りることを考えてもらう必要がある。ディレクター・コーディネーターが前もってヒアリングを行い、事前に団体の活動を把握したうえで手続きを進めていく。</p>
委員長	<p>連携会議では、この制度を使って自分たちの活動団体の活動ができるという雰囲気が強かった。会議に参加していた人たちは、自分たちの活動等を離れてやりたいというイメージがはぐくまれていない印象を受けたが、アンケートでは大丈夫だったか。</p>
事務局	<p>サポーターはプログラムを企画運営するような集団としても検討されていたが、コロナによって途切れてしまった形になり、みんなで相談して作り上げるイメージが薄らいだことは、アンケートからも感じられた。</p> <p>「サポーターは一体何をするのか」については二つの側面があり、集まった人の中で企画を組み上げていくやり方と、決まっている市の事業をサポートする人を募るやり方がある。両にらみしながらやらないといけない。</p>
副委員長	<p>サポーターの定義がはっきりせず、今すぐ設置する必要性がどのくらいあるのか。無償なので予算措置もそんなに必要がないなら、運用してみて切実な問題として必要な人を決めたほうがいい。</p> <p>有償・無償は仕事の内容によるので、最初に決めてそれに対応した仕事を考えるのは順番が変である。企画運営は施設の本質的なところなので、無償サポーターの意見でスタッフもある程度フィックスして、その中で企画運営が動いていくのは危険がある。</p> <p>ディレクターとスタッフがきちんと企画運営する軸をまず立て、間に合わない部分をサポーターとしてどう公募するかを考えたほうが良い。</p>
委員	<p>エコreゾートに滞在した印象では、開館しているだけで今のスタ</p>

	<p>ップでは足りない。とにかく広いので、普段稼働しているスタッフの数で隅々まで利用者に目を通すのは難しい。エコreゾートの施設説明や由来等の案内や環境に意識を向けてもらうなど、ファシリテーションの部分で専任のスタッフが担い、見守りやコロナ対策といったことをサポーターの方にやってもらったほうがいい。</p> <p>既にサポーター的に参加されている方は無償だと思うので、そういう方を市内で探して無償ボランティアで登録して、館内で活躍してもらおう。工作に来てくださる方や、自主的に事業をやりたい方もいるそうなので、市民のためにもボランティアを増やしていくことは大事。</p> <p>まずは無償でどれだけできるかチャレンジし、無償で関わってくださる方がどれだけやりがいを持てるを考えたほうが良いと思う。</p>
副委員長	<p>要素を入れ過ぎると像がつかめず、変な方向に一人歩きする可能性もある。具体的に困っている内容を市民にアピールして、無償で手伝ってくれる方を募集するところから始めたらいい。</p>
委員	<p>資料の2にある図面には出ていないが、2階の事務室の奥にある二つの会議室は、貸出対象ではないのか。</p>
事務局	<p>指摘のとおり、事務室の奥に二つの会議室があるが、事務室の奥にあるため、管理上の問題で貸し出すのは難しい。</p>
委員	<p>基本的に、環境政策課の職員や他の部署の職員が使用したり、庁内の施設として活用したりするという位置付けということか。</p>
事務局	<p>その通り。現状は、提示した場所を貸し出す予定で考えている。</p>
委員長	<p>資料2のどんぐり広場は、今も使われているが、ここの貸出はイベントがあるときなどに使うイメージなのか。</p>
事務局	<p>例えば、晴天時、何かの啓発活動での使用に値する施設だと思っている。クリーンセンターの管理者と話し合い、今のところは貸し出す予定である。</p>
委員長	<p>今も、皆さんが自由に遊んでいるが、それでいいということか。</p>
事務局	<p>基本的には、どの施設も館内でもできる限り自由来館としたい。現状は、自由に集まって、打ち合わせをしたりしている。貸出が始まれば、少し制約は付くが、基本的には自由来館というところは崩さないつもりで考えている。</p>
委員	<p>遊びに来る人には、貸出されている時は囲いをしたりして使えないとするようなイメージか。</p>
事務局	<p>芝生などはその中でも通る場合があるので、動線は確保しつつ貸出を考える。柵などは臨機応変に考えていきたい。施設内も同様に、使う</p>

	<p>施設を事前に示していただき、ディレクターやコーディネーターが通常利用と共存できるように考えながら許可を出すようにしたいので、フリーではなく、事前に貸出のルール等を話してお貸ししたいと考えている。</p>
委員	<p>エコ re ゾートは広々した公園的な要素があって大変いいと思ったが、犬を連れてきて訓練したりということも聞く。せっかくのものなので大事にしたい。見張り等で、汚したり、風紀的に乱れないように管理を強化したほうがいいのではないか。</p>
委員長	<p>基本的に自由来館を大事にしたいという点を支持しているので、犬の訓練等もほかの利用者に配慮しながらであれば、ある程度許容してもいいと思う。</p> <p>エコ re ゾートは公園ではなく、公園的な利用ができる広場なので、公園と同様に一律不特定多数に対して公平に扱うのではなく、実際に犬のふんの話も出ているが、具体的な問題が起きたときは配慮し合っとうまく利用できるようにしたほうがいい。一方で、先の委員のような見方をする方もいると思うので調整は難しい。</p> <p>利用者同士で配慮して、問題をクリアしていく。後で報告するひろば利用は、そのために実施するような考えも背景にはある。</p> <p>問題があったときの対応は、スタッフの皆さんで考えていただき、場合によってはわれわれに相談していただくことが大事だと思う。</p>
委員長	<p>ドッグラン化している一方で、芝生で赤ちゃんがハイハイしている。共存するには、利用する市民同士の話し合いが必要ということでまとめとする。</p>
委員	<p>むさしのエコ re ゾートを借りるときは、「エコ re ゾート利用申請書」とは別に、「武蔵野市一般廃棄物処理施設使用申請書」も出さないといけないのか。出さなければいけないのは分かるが、ここまでは「エコ re ゾートの利用について」と言ってきたのに、なぜこの名前の申請書なのかが一般市民には分かりづらい。名前を変えることはできないのか。</p>
事務局	<p>名称については難しい場合もあるが、できる限り分りやすく工夫していきたい。</p>
委員長	<p>括弧付きで、「武蔵野市一般廃棄物処理施設使用申請書 (エコ re ゾート施設)」にはできないのか。</p>
事務局	<p>庁内の調整が必要なので、ご意見として承り、可能なら調整したい。</p>
副委員長	<p>同じ指摘だが、「エコ re ゾート」はワークショップで決めたのに、反映しないのは不自然。「エコ re ゾート」という名前の別の申請書も</p>

	<p>また別に出さなければいけないとってしまうので、一括して2種類出せばいいことがはっきり分かるように、「一般廃棄物処理施設」が括弧書きになるような運用のほうがいいと思う。クリーンセンターとの兼ね合いもあり、工夫は必要だと思う。</p>
委員	<p>エコreゾートの使い方について、連携会議で議論し環境に対して取り組んできたので、堅苦しい形にはなるが定款のような形で「なぜ生まれたか」を明確にしないといけないと思う。</p> <p>エコreゾートは、市民の理解とともに武蔵野市にできた都心の清掃工場で、使いながら環境に優しく、持続可能な社会にしていくためのものである。武蔵野市がリーディング都市として、持続可能な社会・地球にするための使い方を、みんなが利用し、遊びながら生まれていく中から示していけるといい。定款については、事務局をお願いしたい。</p>
委員長	<p>今の委員のご意見は、エコreゾートのポリシーでもあるので、肝に銘じてやってくださると信じている。</p>
委員	<p>資料2の「貸出」について、検討、登録、仮申込、本申請という流れで市民に申請方法を説明するとあるが、申請書を出し、添付される企画書あるいは計画書の内容をコーディネーターが確認してヒアリングをすることを、事前に市民に伝えておくことが一番重要だと思う。書類に書けば「はい、どうぞ」で借りられるような貸出を主目的とした施設ではなく、あくまで環境啓発施設なので、環境啓発に貢献するような貸出利用の仕方をきっちりとコーディネートする姿勢を市民に明確に打ち出したほうが良い。</p> <p>そのためには、検討、登録を、仮申込、本申請の間に、打ち合わせや協議調整といった項目を同じぐらいの見出しで立てたほうが分かりやすい。今後このエコreゾートのWEBサイトに貸出方法を掲載すると思うが、「必ず打ち合わせさせていただく」と表示しておいたほうがいいと思うので、ぜひ検討してほしい</p>
事務局	<p>塩澤委員のご意見はもっともだと思う。資料の「検討」のところに、「武蔵野市民に広く開かれた環境啓発事業であること」とある。ここを基本に、ご意見の内容を併せて確認し進めていきたい。連携会議の活動報告の資料4の1ページにも同様なことがある。「エコreゾートは単なる貸出施設ではない。エコreゾートの運営理念に沿った利用でなければならない」「どのような利用内容なのかスタッフが確認し～」の部分は大事なところだと思う。</p> <p>一方で、1ページの一番下の「市民が気軽に利用できることが一番だと思う」という意見も確かに一理あるが、今のところは基本的に環</p>

	境啓発事業に関わる部分でお貸しできればと思っている。
副委員長	収益事業、入場料を取って行うような催しも申し込めるのか。「無償で」というような条件は付いているのか。
事務局	行政財産になっているので、基本的にお金を取って運営するのは難しい。しっかり明示する必要がある。
1. (3) 施設の評価について	
委員長	「施設の評価」について。
委員	これはWEB アンケートを行うという意味だと思うが、何票くらい取るつもりか。
事務局	100 程度を予定している。
委員	<p>市民の人口が 14 万幾つで、年代別、性別、地域別にその人口の比率に応じて票を回収すると 100 票では間に合わない。あるセグメントが 1 人か 2 人になり分析ができないので、予算の関係もあるだろうが、最低でも 1,000 票くらいは取ったほうがいい。</p> <p>WEB 用について、何回もやるものではなく、それなりの予算を使うので、調査の設計を大事にし、きちんと評価につながる設問を作ったほうがいいと思う。今は、環境問題に関心や環境に関する行動についての設問が多いが、エコ re ゾートに対する評価はもっといろいろある。この施設の在り方に対する評価で、その使い勝手や、環境を学ぶことができるか、もっと利用したくなったか等、評価の対象になる項目を整理をし、それに対してどういう設問を投げ掛けるかを検討したほうがいい。</p> <p>啓発事業については、事業に参加したときの満足度を、例えば 5 段階で評価すれば、数値化して数量的に評価することができると思う。</p> <p>来館者用には直接お渡しして記入してもらうので、設問はこれ以上増やせない。どういう評価につなげるかを整理した上で、設問を厳選したほうがいい。また、どこを利用したかについても丁寧に聞いたほうがいい。</p> <p>この利用アンケートは、事業に参加した方はもちろん行い、貸し出して主催者が行う事業についても同じように取ると、効果の違いが分かり評価の幅が出ると思う。少し時間がいただければ、私が細かく検討しても構わない。</p>
事務局	<p>委員のご発言のとおり、設問がどの評価につながるかというひも付けは必要だと思うので、ぜひお力をお貸しいただければと思う。</p> <p>貸出については、貸出後に報告のような感じでアンケートを取ろう</p>

	<p>とっていて、そこで借りてどうだったかというリターンも期待をしている。</p>
委員	<p>意識的にイベントのときにアンケートをしてもらおうと、来た人の感想が分かって効果があるのではないか。</p>
副委員長	<p>来館者用のアンケートは意味があると思うが、今の段階でWEB用アンケートはあまり意味がないのではないか。票数もだが、これから何が分かるのかが想像できない。定性的情報なら大体やる前から分かるし、定量的情報にはこれではつながらない。</p> <p>Q3、Q4は、人が増えたら不可能で、十何項目のうち1個だけ選ぶのでは、前のほうだけ読んで付けて、後ろのほうは付かないことも予想されるので難しい。アンケート票の設計そのものが良くないし、今やってあまり意味がないと思う。</p> <p>実際来てくれている人の来館者の感想や意見は重視すべきだが、エコreゾートの具体的な空間や運営のイメージとつながった問がない。期待外れだった点、将来どうなるべきかという、希望とか夢につながる方向性を引き出せる質問がもっと必要だと思う。</p> <p>今はコロナ禍で、エコreゾートの真価を発揮していない状況で、来館者も多分欲求不満のまま使っている。そこも共有したいが、切り離すような感じの設問という気がする。</p>
委員長	<p>アンケートを回答時に、①等はやめて、1にするとミスが減ったりするので選択肢の工夫も必要。満足度等を評定尺度的にしてみるとか、どのくらいの頻度で行うという点も含め、WEBアンケートを検討していく。</p>
<p>2. (2) 開館状況について 2. (3) 事業実施状況について</p>	
事務局	<p>資料5から7の説明。</p>
委員長	<p>3番目の説明で、市外の方が2人参加しているのは、友達が友達を呼んでくるという形だったのか。</p>
事務局	<p>大学のボランティアセンター経由で、対象ではないが参加希望の子が2人いた。</p>
副委員長	<p>この取り組みは具体的でなじみやすく、大変いいと思う。頑張っしてほしい。</p>
<p>3. その他</p>	
委員長	<p>「ひろば利用」について、塩澤委員。</p>
委員	<p>前回この場で「ひろば利用」の試験実施が承認され、今、試験実施している。このエコreゾートもやもや会議という市民有志の集まり</p>

	<p>で、今後のひろば利用の試験実施についてスケジュールリングした。</p> <p>今回このひろば利用をするに当たって、参加者の方に「ひろば利用とは」というチラシを配って説明した。市民が関心のあるテーマについて同じ市民と共有するための利用方法で、ひろばをしたい市民は「〇〇ひろば」と名付けてエコ re ゴートを利用し、利用者呼び掛けて実施するという内容。資料4の貸出ルールのところで、「市民が気軽に利用できることが一番」というご意見があったが、このひろば利用が「気軽に利用できること」の受け皿になると良いと思う。</p> <p>事前に職員と相談し、実施内容についての申出書を提出した。終了後には報告書を提出し、最終的にはエコ re ゴートのアーカイブに保存して誰でも見られるようにしたい。</p> <p>当日職員が掲示したもので、キッチンのところお茶碗リユースになっている。今持ち込みはできないが、持ち帰ることはでき、減っているとのことだった。参加者は12人ほどで、会場への参加者が3名、あとは関係者だった。3人参加してくれたのは良かった。</p> <p>この参加された方に、アンケートを配付して回答してもらった。今後これを配布して回答してもらい、この運営会議で結果も踏まえて報告したい。</p>
委員長	<p>私が予定しているのは温暖化や異常気象について学び合うひろばにしたいと思っている。そもそも低炭素地域づくりの拠点とすることがあったのでそういう名前にして、語らいの場にしたい。コロナもあるので健康も入れて「温暖化と健康を考えるひろば」でもいい。</p> <p>ふらっと来た方の参加もあり、楽しめた。小学校3年生ぐらいの男の子がおばあちゃんのためにお皿を2枚持っていったり、武蔵野市でも多世代のことを考えているお子さんがいるなどと思った。</p>
事務局	<p>実施を興味深く拝聴した。館内で呼び込みのようなことをやったのか、もしくは自然に集まったのか。参加した方の現時点での感想・イメージと、その様子を教えていただきたい。</p>
委員	<p>当日、職員が一組一組声を掛け、3名が参加した。会場にいた人数が少なかったが、もっと大勢いる場合は館内アナウンスも良いと思う。声掛けで参加した方のアンケートでは、お茶碗リユースを知る機会になり、興味を持ったという結果が見られた。あとの関係者はお茶碗リユースに取り組んでいたり、もやもや会議のメンバーで、意見交換ができて非常に良かった。</p> <p>お茶わんリユースは、そのお茶碗を通じて、持っていかれる方、持ち込む方と触れ合う機会ができる。なぜそれを持っていくのかとか、</p>

	持ち込んだのかという、それぞれ人の思いも含めてリユースされ、地域の中で循環していく気がした。
委員長	<p>ふた付きの茶碗蒸しが幾つかあって、若い女の子が1個だけ持っていった。夕飯で余ったものを入れて蓋をし、冷蔵庫に入れて次の日に食べると。若い方から、そういう使い方もあると気付かされた。自分は、その茶碗蒸しがとてもきれいな色だったので、棚に置いてインテリアとしても使えるなど思いながら伺っていた。</p> <p>ただ、汚れたもの、割れたものの持ち込みを防ぐ意味で、受け取りのシステムが考えられているのだと感じた。</p>
事務局	資料8の説明。
事務局	10回の環境啓発施設運営会議は、6月21日から6月30日の日程調整を行う。メールにて、ご予約をお伺いする、ご回答をお願いしたい
事務局	人事異動についての報告。
委員長	ありがとうございました。